

## 自然火災の予防と対処

### カザフスタン II

面積 15 万 1300 km<sup>2</sup>、人口 65 万人の西カザフスタン州は、カザフスタン共和国西部のステップ地帯の平地にある。

この州は、カザフスタン共和国のアティラウ州とアクチュビン州、ロシア連邦のアストラハン州、ボルゴグラード州、サラトフ州、オレンブルグ州と境を接している。

州内の主な森林は保護林（防風林）である。すなわち、ウラル川増水域、自動車道路沿い、ウラル・クシュム灌漑システムの貯水池の周辺、ウラリスク市周辺、州内の自然保護区内の保護林である。この保護林帯の総面積は 3000ha である。火災危険性が高最も高いのは、ウラル川沿いの保護林帯である。石油やガスのパイプラインがゼレノフ、タスカラ、ジャンガラ、アクジャイクの各地区を通過していることが、火災対処状況を非常に複雑なものにしている。40～45℃にまで達する夏季の高気温、少ない降水量のため、7～8月に森林・ステップ火災が発生しやすい状況にある。

過去の自然火災発生事例の分析から明らかなように、発見・通報の遅れ、消防署が近くにないことのため、自然火災は大規模なものになってしまう。

西カザフスタン州内の自然火災に首尾よく対処するために、西カザフスタン州消防庁は州の森林動物界保護再生局と共同で一定の活動を行なっている。

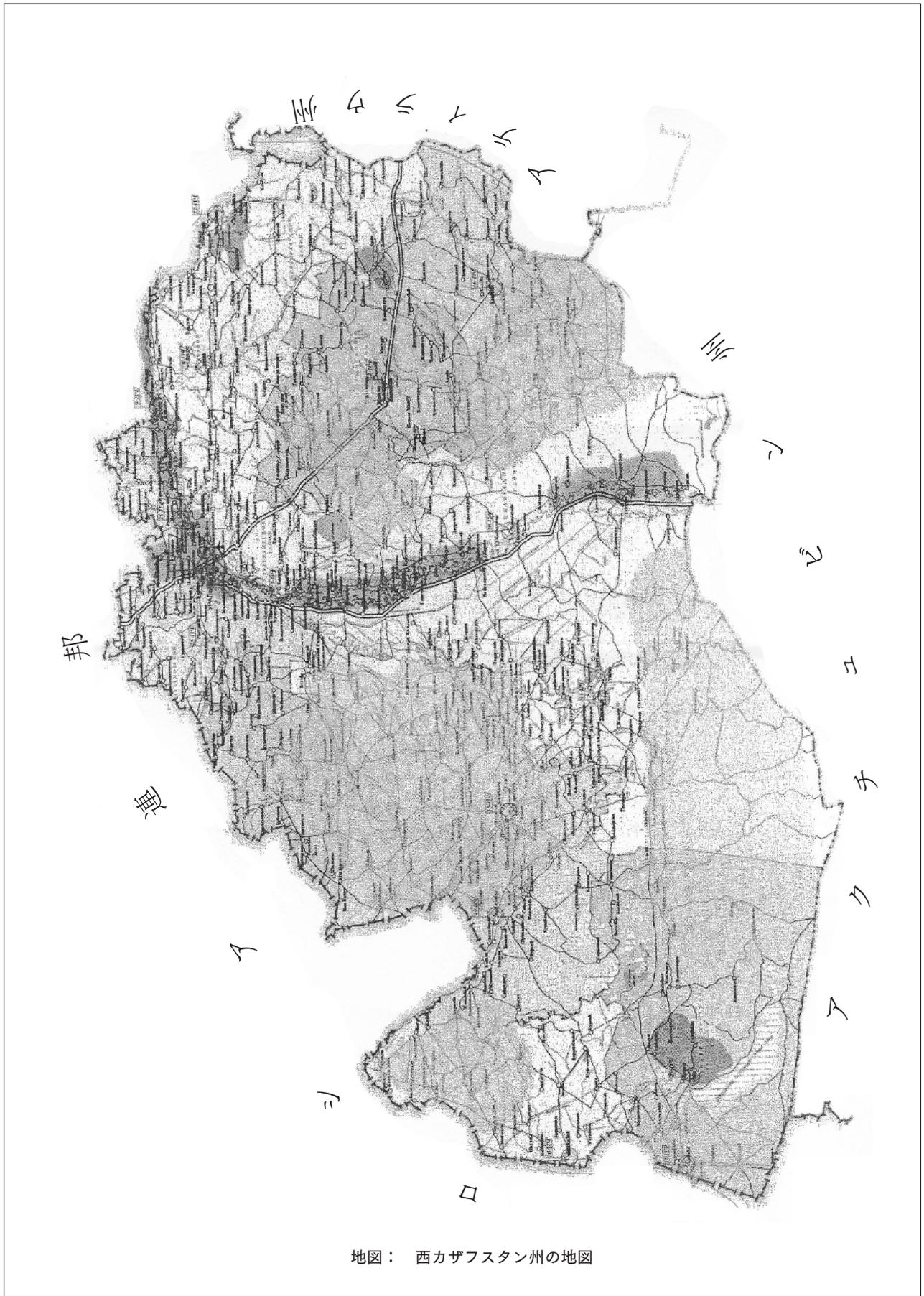
西カザフスタン州行政府は、「2006 年度西カザフスタン州森林火災対処のための州機関共同行動計画」を承認した。この計画の中には、自然火災の予防・消火に関する問題、消防署・内務省・国防省間および地区行政府との共同行動に関する基本的な諸問題が反映されている。

大規模火災消火のための州の人員・機材動員計画が改訂された。

2006 年度に州の森林動物界保護再生局によって一連の森林火災予防措置が講じられた。防火帯が作られ、その保守管理が行なわれた。森林用地内や周辺に警告板や掲示板が設置された。火災の危険のある季節には、森林動物界保護再生局の全ての支部に化学消防ステーションが設けられる。そのための要員は森林保護員の中から徴集される。

国境地域の自然火災に首尾よく対処するために、国家機関《消防緊急救助局》の支部とロシア連邦消防局との共同行動計画が作成され、承認されている。

発生した火災の分析のため、西カザフスタン州の地図に、国家森林動物界保護機関所在地と自然火災頻発地域が記入された。火災危険性の高い季節には、各地の消防隊は強化警戒態勢に移り、追加の補助機材（プラウ懸架トラクター等）を準備し、農村には自警消防団が結成され、火災状況の衛星監視が実施される。



地図： 西カザフスタン州の地図